

構築会兵庫支部 平成24年度見学会の概要

平成24年度見学会は、神戸の中心市街地で進行中の2つのプロジェクト、阪神三宮駅改良工事と神戸ハーバータワー新築工事を、視察先のご厚意とご協力を得て見学させていただきました。11月も中旬に入り、日が傾いてくると少し肌寒く感じたものの天候に恵まれた一日でした。

阪神三宮駅は、平成21年の阪神なんば線開通による阪神三宮～近鉄奈良間の相互直通運転に先立って、バリアフリー化と避難経路の拡充を図るため、平成19年に東改札口の新設、既存西改札口の改築、構内配線の変更、エレベーターの新設などの改良工事に着手しています。今年3月には、新しく開通した地下通路と合わせて東改札口が利用できるようになって、駅周辺の歩行者ネットワークの拡充が進んでいます。交通量の多い道路直下での仮設工事もあることながら、これまで地下空間を支えてきた構造躯体を切断しながら地上に搬出するに際してのご苦労が伝わってきました。また、施工中に姿を現した開業当時(1933年)のアーチ型の梁を設計変更により保存、新しく生まれ変わる中にもレトロな雰囲気を残したデザインや、神戸の玄関口に相応しい内装の考え方などを興味深く聞かせていただきました。工事は終盤に差ししかかっており、来春のグランドオープンが楽しみです。



神戸ハーバータワーは、神戸ハーバーランドに近接した地で年明けの竣工を迎える35階建て高層マンションです。この建物は、固さが異なる二つの構造体とダンパーの働きで、構造体が負担する地震エネルギーを低減させる超高層制振構造システムが採用されています。現地では、建物の心棒となる強固な壁構造物(エレベーターパーキングの外周を構成する独立連層耐震壁)と、その周囲の住棟部がダンパーで連結されている様子を見せていただきました。この制振構造を採用することで、一般的なラーメン構造に比べて住戸内の柱・梁型が軽減されて、居住空間の自由度が高まります。神戸港を一望できる高層階からの眺めも素晴らしく、ここに居住される方を羨ましく思いながら懇親会場に向かいました。

神戸港の夜景を眺めながらの懇親会には、現地をご案内いただいた方々も駆け付けてくださり、多方面の話題に花が咲いて楽しい有意義なひとときを過ごしました。最後に参加者一同が記念の集合写真に納まってお開きとなりました。

